

2020年6月18日

各 位

会社名 フォーライフ株式会社
代表者名 代表取締役社長 奥本健二
(コード：3477、東証マザーズ)
問合せ先 取締役執行役員 渡辺泰寛
管理本部長
(TEL：045-547-3432)

(訂正・数値データ訂正) 2020年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)の一部訂正について

当社が、2020年5月20日に公表いたしました「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」において、一部記載の訂正がございましたのでお知らせいたします。謹んでお詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正いたします。

記

1. 訂正の理由

2020年3月期有価証券報告書の作成過程におきまして、監査法人から指摘を受けたため、2020年3月期決算短信の内容に修正が生じたので、提出済の決算短信を訂正させていただくものであります。

2. 訂正箇所

(イ) キャッシュ・フロー計算書

【訂正箇所①】 サマリー情報1ページ

【訂正箇所②】 添付資料5ページ

【訂正箇所③】 添付資料12ページ

(ロ) 注文住宅事業の2019年度引渡棟数と合計引渡棟数

注文住宅事業引渡棟数 (訂正前) 71棟 (訂正後) 70棟

合計引渡棟数 (訂正前) 279棟 (訂正後) 278棟

【訂正箇所④】

- ・添付資料3ページ10行目
- ・添付資料3ページ21行目
- ・添付資料3ページ下段表

3. 訂正内容（訂正箇所の下線を付しております。）

【訂正箇所①】 サマリー情報1 ページ目

1. 2020年3月期の業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(3) キャッシュ・フローの状況

<訂正前>

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	<u>△179</u>	<u>△8</u>	△114	1,240
2019年3月期	△386	△6	504	1,542

<訂正後>

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	<u>△180</u>	<u>△7</u>	△114	1,240
2019年3月期	△386	△6	504	1,542

【訂正箇所②】 添付資料5 ページ

1. 経営成績等の概況

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

<訂正前>

当事業年度における「現金及び現金同等物」（以下「資金」という。）は、営業活動により179,144千円を使用、投資活動により8,780千円を使用しましたが、財務活動により114,410千円を使用したことにより、前事業年度末に比べ302,335千円減少し、当事業年度末には1,240,640千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、179,144千円（前年同期は386,802千円の使用）となりました。これは主に、税引前当期純利益の計上305,978千円があった一方で、たな卸資産の増加462,642千円による資金の減少があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、8,780千円（前年同期は6,268千円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出5,748千円、無形固定資産の取得による支出5,565千円があったことによるものであります。

<訂正後>

当事業年度における「現金及び現金同等物」（以下「資金」という。）は、営業活動により180,516千円を使用、投資活動により7,408千円を使用しましたが、財務活動により114,410千円を使用したことにより、前事業年度末に比べ302,335千円減少し、当事業年度末には1,240,640千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、180,516千円（前年同期は386,802千円の使用）となりました。これは主に、税引前当期純利益の計上305,978千円があった一方で、たな卸資産の増加462,642千円による資金の減少があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、7,408千円（前年同期は6,268千円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出5,509千円、無形固定資産の取得による支出4,432千円があったことによるものであります。

【訂正箇所③】 添付資料12ページ

(4) 【キャッシュ・フロー計算書】

<訂正前>

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	217,568	305,978
減価償却費	33,840	32,222
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,140	13,029
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△911	—
支払利息	23,086	23,781
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	400
売上債権の増減額 (△は増加)	△45,356	△191,680
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△453,185	△462,642
仕入債務の増減額 (△は減少)	△61,178	132,414
前受金の増減額 (△は減少)	5,949	55,270
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	10,208	△14,721
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	12,441	8,421
その他	7,046	1,663
小計	△257,630	△95,863
利息及び配当金の受取額	24	24
利息の支払額	△23,143	△24,114
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△106,054	△59,190
営業活動によるキャッシュ・フロー	△386,802	△179,144
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,310	△5,748
無形固定資産の取得による支出	△1,031	△5,565
敷金及び保証金の差入による支出	△1,260	△1,379
その他	1,332	3,912
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,268	△8,780
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,882,000	3,001,000
短期借入金の返済による支出	△2,519,500	△2,952,000
長期借入金の返済による支出	△1,500	—
社債の発行による収入	294,800	—
社債の償還による支出	△90,000	△100,000
リース債務の返済による支出	△1,570	△3,398
自己株式の取得による支出	—	△48
配当金の支払額	△60,041	△59,963
財務活動によるキャッシュ・フロー	504,188	△114,410
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	111,116	△302,335
現金及び現金同等物の期首残高	1,431,859	1,542,976
現金及び現金同等物の期末残高	1,542,976	1,240,640

<訂正後>

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	217,568	305,978
減価償却費	33,840	32,222
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,140	13,029
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△911	—
支払利息	23,086	24,553
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△45,356	△191,680
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△453,185	△462,642
仕入債務の増減額 (△は減少)	△61,178	132,414
前受金の増減額 (△は減少)	5,949	55,270
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	10,208	△14,721
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	12,441	7,049
その他	7,046	2,063
小計	△257,630	△96,463
利息及び配当金の受取額	24	24
利息の支払額	△23,143	△24,887
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△106,054	△59,190
営業活動によるキャッシュ・フロー	△386,802	△180,516
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,310	△5,509
無形固定資産の取得による支出	△1,031	△4,432
敷金及び保証金の差入による支出	△1,260	△1,379
その他	1,332	3,912
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,268	△7,408
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,882,000	3,001,000
短期借入金の返済による支出	△2,519,500	△2,952,000
長期借入金の返済による支出	△1,500	—
社債の発行による収入	294,800	—
社債の償還による支出	△90,000	△100,000
リース債務の返済による支出	△1,570	△3,398
自己株式の取得による支出	—	△48
配当金の支払額	△60,041	△59,963
財務活動によるキャッシュ・フロー	504,188	△114,410
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	111,116	△302,335
現金及び現金同等物の期首残高	1,431,859	1,542,976
現金及び現金同等物の期末残高	1,542,976	1,240,640

【訂正箇所④】

<訂正前>添付資料3 ページ10行目、21行目、下段表

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

② 注文住宅事業

2. 1棟当たりの請負金額が増加しております。引渡ベースでは前年と同じ71棟であります。前事業年度から単価が19.4百万円から21.2百万円へ増加しております。

これらの結果、引渡棟数は71棟（前年同期と同数）、売上高は1,717,376千円（前年同期比18.6%増）、営業利益は70,214千円（同167.2%増）となりました。

セグメントの名称	売上高（千円）	（前年同期比）	引渡棟数	（前年同期）
分譲住宅事業	7,721,803	(22.2%)	203	(167)
〔うち土地分譲〕	[254,961]	[△20.7%]	[7]	[7]
注文住宅事業	1,717,376	(18.6%)	<u>71</u>	(71)
その他	191,306	(△8.1%)	5	(7)
合計	9,630,485	(20.7%)	<u>279</u>	(245)

<訂正後>

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

② 注文住宅事業

2. 1棟当たりの請負金額が増加しております。引渡ベースでは前年対比1棟減の70棟ありますが、前事業年度から単価が19.4百万円から21.2百万円へ増加しております。

これらの結果、引渡棟数は70棟（前年対比1棟減）、売上高は1,717,376千円（前年同期比18.6%増）、営業利益は70,214千円（同167.2%増）となりました。

セグメントの名称	売上高（千円）	（前年同期比）	引渡棟数	（前年同期）
分譲住宅事業	7,721,803	(22.2%)	203	(167)
〔うち土地分譲〕	[254,961]	[△20.7%]	[7]	[7]
注文住宅事業	1,717,376	(18.6%)	<u>70</u>	(71)
その他	191,306	(△8.1%)	5	(7)
合計	9,630,485	(20.7%)	<u>278</u>	(245)

以上